

# 栃尾地域のまちづくりについての提案書

平成29年3月22日

長岡市栃尾支所長

清水正明様

長岡市栃尾地域委員会

栃尾地域委員会では、2年間にわたり少子高齢化と若者が減少し続ける現状でも、住民が元気で安心して暮らし続けるためにはどうすればよいかについてを検討してきました。検討の結果、今後の栃尾地域の住民にとって必要な取り組みとして次の5項目を提案いたします。

## 1 高齢化を逆手にとったまちづくり

高齢化が進み、若い人が減ってきている現状をマイナスに捉えず、逆手に取ってまちづくりに生かすことができれば、高齢者もまちづくりの主演となり、イキイキ暮らせる地域づくりができるものと考え次の提案をします。

- (1) 「高齢者が持っている知識や技術を積極的に活用」するためのコミュニティセンターの設置を進める。
  - ・ 高齢者と若者、幼児・児童が遠慮なく一緒に交流する機会を多く設けて、祭り、伝統芸能（神楽舞い、広大寺踊り）、織物・手まり・あぶらげ作成、昔話、歌、生活の知恵、料理などを直接指導したり、本や映像で記録を残したりして伝達する。
- (2) 「高齢者が使える時間を利用して新たな産業を創出」するための支援をする。
  - ・ 薬草や山菜を摘んでビジネス化し、高齢者同士の交流の手段とする。
  - ・ 米や野菜の生産技術を上げ、ブランド化を図り販路の拡大をする。
  - ・ 6次産業化するものとして、収穫時期が異なる米、麦、大豆等を生産し、食品加工から販売を行うことで高齢者の雇用につなげる。

## 2 高齢者世帯等の雪対策の充実

冬期間に高齢者が安心して暮らすためには、屋根の雪下ろしや玄関先の除雪が重要と考え次の提案をします。

- (1) 「活用しやすいボランティア制度」の仕組みをつくる。
  - ・ 現有制度のしんせつ除雪隊を広めることや有償ボランティアの依頼方法などの周知を図るとともに、ボランティアの確保のために保障制度の充実を図る。
  - ・ 企業ボランティアを募り、市から企業への補助制度を創設する。
- (2) 玄関前の除雪支援の仕組みや融雪の方法を行政や業者、区、大学等の研究機関で検討する。
- (3) 高齢者住宅等を活用して、越冬住宅を確保し安価で利用できる制度を創設する。

### 3 人口減少対策

少子化と若者の流出が進み、担い手が不足する不安に対し、若者の働く場所を確保することや結婚、子育て、住宅等の生活環境づくりを進めるとともに、U・Iターン者が移住しやすい地域をつくる必要と考え次の提案をします。

- (1) 「若者の人口流出を減らす」ために必要なことを行う。
  - ・ 雇用の確保（6次産業の立上げ）する。
  - ・ 結婚相談所開設、婚活事業を工夫して実施する。
  - ・ 冬期間でも通勤・通学をしやすいようにする。
  - ・ 子育てしやすい環境整備として、保育の充実や医療サービスの確保
  - ・ 安価で雪対策の整った住宅や畑ができる宅地の取得に必要な補助金等の創設をする。
  - ・ 世代交代を進め、若者の活躍できる場を創出する。
  - ・ 流出の原因について中・高校生にアンケートし考え方を把握する。
- (2) UターンやIターン者など移住者の受け入れをすすめるための相談窓口の設置や支援体制を創設する。
  - ・ 栃尾の良い所をうまくPRし、移住を考える人に向け効果的な情報発信を行う。

### 4 交流人口の拡大

地域住民が誇りを持って元気に暮らすためには、魅力ある地域づくりを行い、多くの人が訪れる地域となり、様々な人達と交流を図ることが必要と考え次の提案をします。

- (1) 「新たな栃尾の魅力づくり」を行う。
  - ・ 観光だけでなく、農業やお祭り、織物、自然（山、川、雪）、あぶらげ等の栃尾の魅力を活用した体験型の交流イベントで誘客を進め、滞在時間を増やしリピーターも増やす。
  - ・ 道の駅やおいらこの湯周辺に子どもが遊べる場所を整備する。
  - ・ 地域の施設を活用し、スポーツや文化・芸術などの活動を誘致する。
- (2) 「新たな人への情報発信」を行う。
  - ・ 道の駅に来る人や高齢者施設に入居する人とその家族などとの交流を進めて、栃尾のPRをすることで、新たな来訪者を増やす。
- (3) 滞在者の利便性を高める。
  - ・ まちなかに来る人の駐車場を確保する。また、イベント開催時は、駐車場から会場までのシャトルバスを運行することで利便性を高める。
  - ・ 宿泊施設を整備する。

### 5 その他（上記1から4以外で安心して暮らすためには）

- ・ 丹佐跡地には、住民の活動や保健福祉の拠点となる機能と行政機能（支所）を集約した施設を整備し、既存の文化・体育施設とを集中させることで住民の利便性を向上させ、住民の拠り所とする。
- ・ 課題として「サル等による農作物被害」や「耕作放棄地の拡大」などが挙げられた。今回の提案には至らなかったものの早急な対策が講じられることが必要と考える。